

製品名: EP4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10498**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	PTGER4
別名	PTGER4; PTGER2; Prostaglandin E2 receptor EP4 subtype; PGE receptor EP4 subtype; PGE2 receptor EP4 subtype; Prostanoid EP4 receptor
遺伝子 ID	5734.0
SwissProt ID	P35408
免疫原	抗血清はヒト PE2R4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 321-370

背景

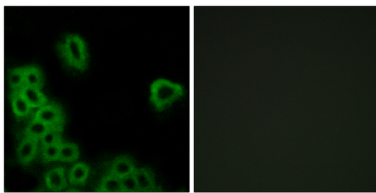
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、G タンパク質共役受容体ファミリーのメンバーです。このタンパク質は、プロスタ

グランジン E2 (PGE2) に対して同定されている4つの受容体の1つです。この受容体はT細胞因子シグナル伝達を活性化することができます。PGE2 誘導性の早期成長反応1 (EGR1) の発現を媒介し、シクロオキシゲナーゼ-2 mRNA のレベルと安定性を調節し、グリコーゲン合成酵素キナーゼ-3 のリン酸化を引き起こすことが示されています。マウスを用いたノックアウト研究では、この受容体が新生児期の循環器系の適応、骨粗鬆症、および皮膚免疫応答の開始に関与している可能性が示唆されています。[RefSeq 提供、2008年7月];注意:当初はEP2サブタイプとして指定されていました。機能:プロスタグランジン E2 (PGE2) の受容体。この受容体の活性は、アデニル酸シクラーゼを刺激するGタンパク質によって媒介されます。平滑筋を弛緩させる作用を有する。腎血行動態、腸管上皮輸送、副腎アルドステロン分泌、および子宮機能の調節に重要な役割を果たす可能性がある。類似性:Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。サブユニット:FEM1Aと相互作用する。組織特異性:腸管および末梢血単核細胞に多く、肺、腎臓、胸腺、子宮、血管、脳には少ない。肝臓、心臓、網膜、骨格筋には存在しない。

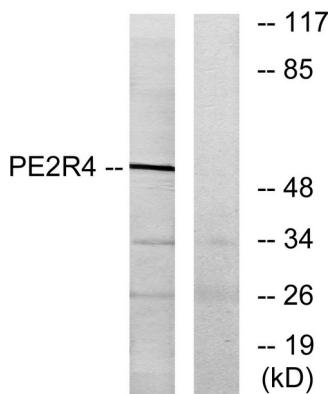
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

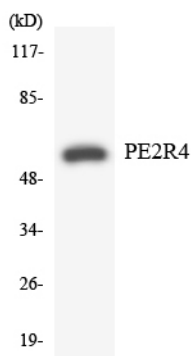
画像データ



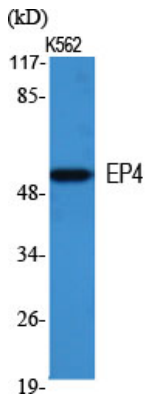
PE2R4抗体を用いたMCF7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



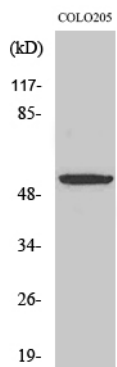
COLO205細胞ライセートのPE2R4抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PE2R4抗体を使用したHeLa細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



EP4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



EP4 ポリクローナル抗体を用いた COLO205 細胞のウェスタンブロット解析